

MAEBASHI REPORT

# まえばしレポート 2019

～7年間の実績と構想中のアイデアを語る～

前橋市長 山本 龍



内部資料

# 市長として7年が経過しました。 これまで取り組んだ事と 構想中のアイデアを報告します。



最大の成果は、多くの市民が  
自らの理想の前橋をつくるために  
立ち上がっていることです。

今まで蒔いてきた種からたくさんの芽が伸びて参りました。

決して市長の力によるものではなく、市民の皆様や議会の方々、市役所の職員さんの善意とアイデアと実行力によって成されてきたものだと考えています。

前橋市の誇りを取り戻したいと思う意志で実現できたのです。

心から感謝します。

一人ひとりの市民の力が前橋を再生しています。

市民それぞれのチャレンジを行政として応援します。

それが私の「市民主体のまちづくり」の基本です。

その市民力により、前橋は多様な価値を持つ都市に向かっていきます。

なんでもかんでも税金を用いるのではなく、立ち上がる市民の力を借りることが大切です。私は市民の皆さんに信頼される政治を目指します。公正な政治こそ信頼の基本です。そして信頼こそ市役所と市民を結ぶ絆です。前橋市はもともと市民活動の盛んなまちでした。自分たちの郷土の為に、市民自らが行動する土壌があります。そして私はそれを見守り、応援していこうと思っています。

2019年5月29日 山本龍

健康医療は前橋市の一番の価値です。  
 高齢者が生涯活躍できる前橋をつくるために  
 何をしてきたのか？報告します。

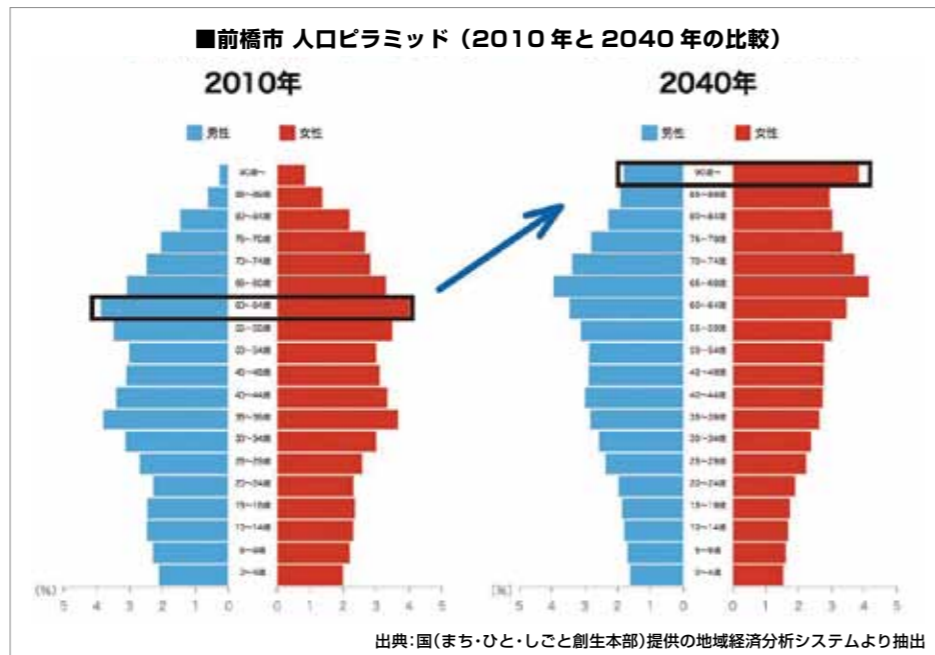
高齢人口が増加する中でいつまでも健康で社会参加できるためには医療健康の機能の強化は絶対に必要であり、この機能は前橋市の最も大切な使命です。前橋市の目指す医療健康都市とは、恵まれた病院群とホームドクター、様々な医療福祉の職種を繋ぐネットワークの力で高齢者が健康を維持できる社会です。前橋市の人口ピラミッドを見れば30年後の前橋市の高齢女性の比率が大きくなります。つまり全体の人口は減らなくても人口構造が変わるのです。



マイナンバー活用  
 前橋市の  
 実証実験を公開

CT画像病院で共有

情報技術と医療との連携が  
 前橋で始まっています



2040年90歳以上の女性が元気に社会で活躍している社会こそ大切な目標です

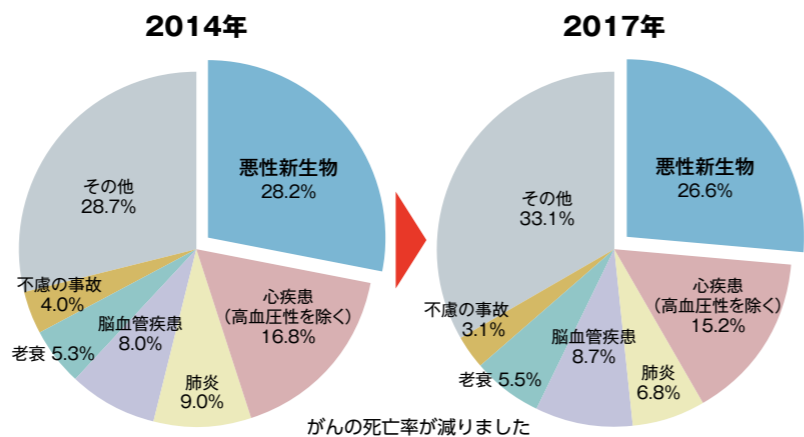
「おうちで療養相談センター」で在宅支援が充実しました

医師会や歯科医師会、薬剤師会、柔整師会、看護協会などの医療・介護の関係者の連携が進んでいます。自宅に居続けられる仕組みで市民の健康長寿を延ばしていこうという取り組みです。

早期発見、早期治療のために

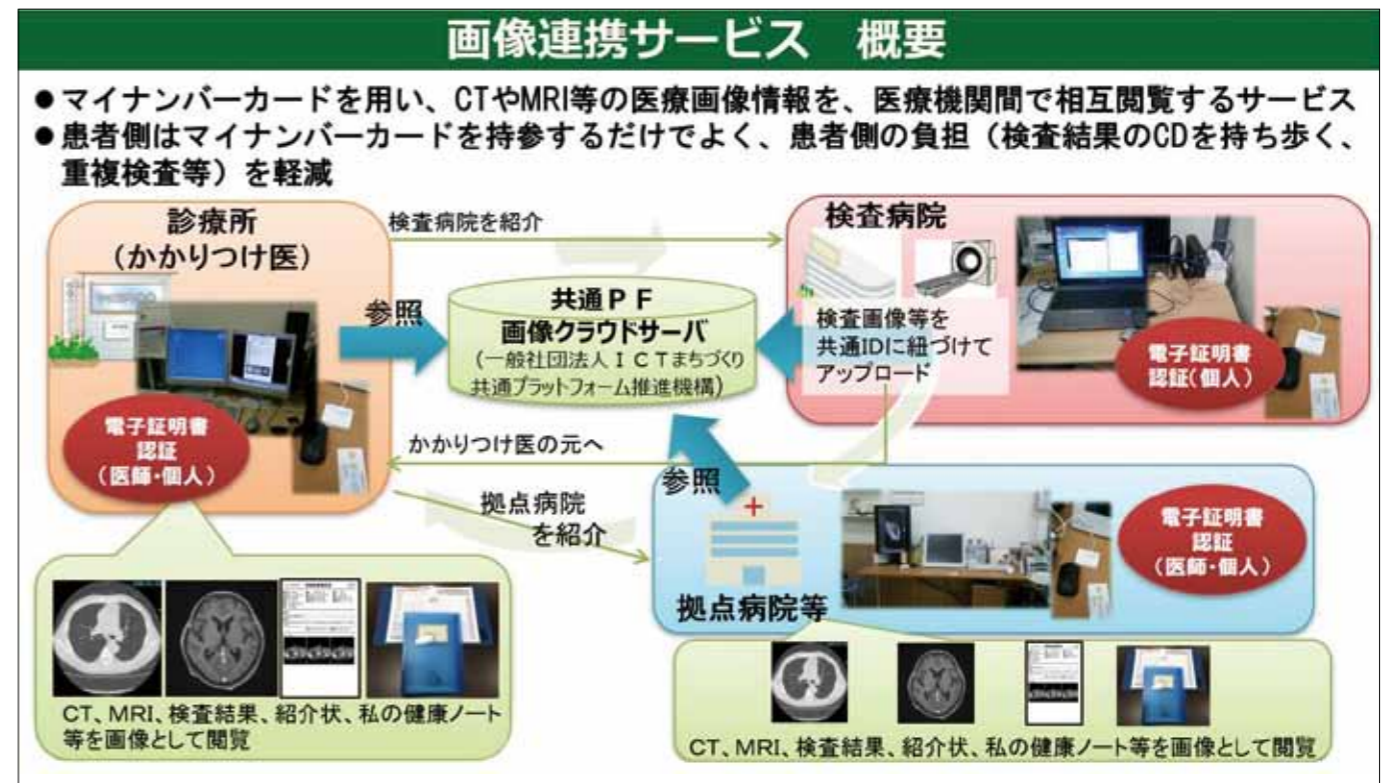
健康診断やがん検診の無料化による病気の早期発見、早期治療も進めてきました。がん検診や歯周病検診の完全無料化を行った結果、前橋市のがん死亡率は減少しました。

トピックス 前橋市のがん死亡率は減少しました。



緊急医療の充実に取り組んできました

前橋市の医療福祉における多様な力を情報として束ねる仕組みを作っています。例えば、救急車の中から患者さんの容態を病院と共有して救命率を向上させられます。



この仕組みは日本の最先端です

新しくなった日赤病院や群馬大学病院が運行するドクター救急車も前橋市民の命を守る機能として始まりました。全国の中核市でも2台のドクターカーを運行しているのは前橋市だけです。

救急車にNTTドコモの協力で5G通信システムを活用し、救急車から患者さんの容態を病院へ映像で送るといったシステムの実用化を早期に実施します。現在前橋市の搬送時間は29分です。あと3分短縮します。全国最速の26分になるよう取り組んでいます。



緊急手術も可能なドクターカー

医療体制の充実へ  
 緊急搬送に5G技術を  
 日本初の取り組みを行っています



搬送時間の日本最速26分は久留米市です

この写真を見て下さい。命を守るために雪山へ飛び立つ人達。責任と使命を感じます。群馬県のドクターヘリは10年間で7万回に及ぶ出勤がありました。機体トラブルが一度もありませんでした。前橋市内でも昨年度50回もの救命出動がありました。このドクターヘリを始め、すべての緊急時の救命に関わる皆さんに感謝申し上げます。



夜間運航システムの検討を群馬県に提案します。これが実現できれば群馬県全域の救命向上と全県で地域医療を担う人、救急車を運行する隊員の負担軽減にもつながります。

### 健康診断の無料化で医療費が減ってきました

とにかく検診を受けてください。早期発見、早期治療が健康寿命を延ばします。市民の健診データから適切な健康指導を行えば健康寿命をもっと延ばせるでしょう。

### 山本前橋市長が方針 10健診を無料化

早期発見で医療費抑制

### 歯周病の健診実施

前橋口腔衛生条例を制定し、様々な口腔衛生の政策の策定を進めました。20歳から70歳までの間の5歳刻みの歯周疾患検診、妊婦歯科健康診査、後期高齢者(75歳)歯科健康診査の無料検診が始まりました。

妊婦の歯科検診の無料実施を行っています。妊娠中の女性は、むし菌や歯周病が発症しやすく、むし菌はお母さんの唾液を介して赤ちゃんのお口の中に入ることが分かっています。歯は健康の元です。

### おたふくかぜワクチンの無料化で接種率95%

結核予防のBCG接種や、4種混合、麻しん、風しん等の予防接種法に基づく定期接種については個別接種を無料で行っています。ロタワクチンについては市が半分の助成を行っています。

### 高齢者や障がい者の居所や在宅支援施設の設置が進んできました

「CCRC:生涯活躍のまち」については民間の構想を応援する形で進めています。一つが朝日町の日赤病院の跡地です。この春から旧赤十字病院の建物の解体が始まります。さらに民間の社会福祉法人「あそか会」が江木町の旧群馬県農業試験場の跡地にCCRC機能を有する「きらめきの郷」という施設の建設を始めます。このほかにも民間の医療法人や福祉法人がCCRC構想に動き出す意向を示しており、官民が意志を共有して、高齢者の活躍できる拠点機能を前橋市に配置できるよう進めています。



あそか会提供、図上部はローズタウン





住友不動産マンション



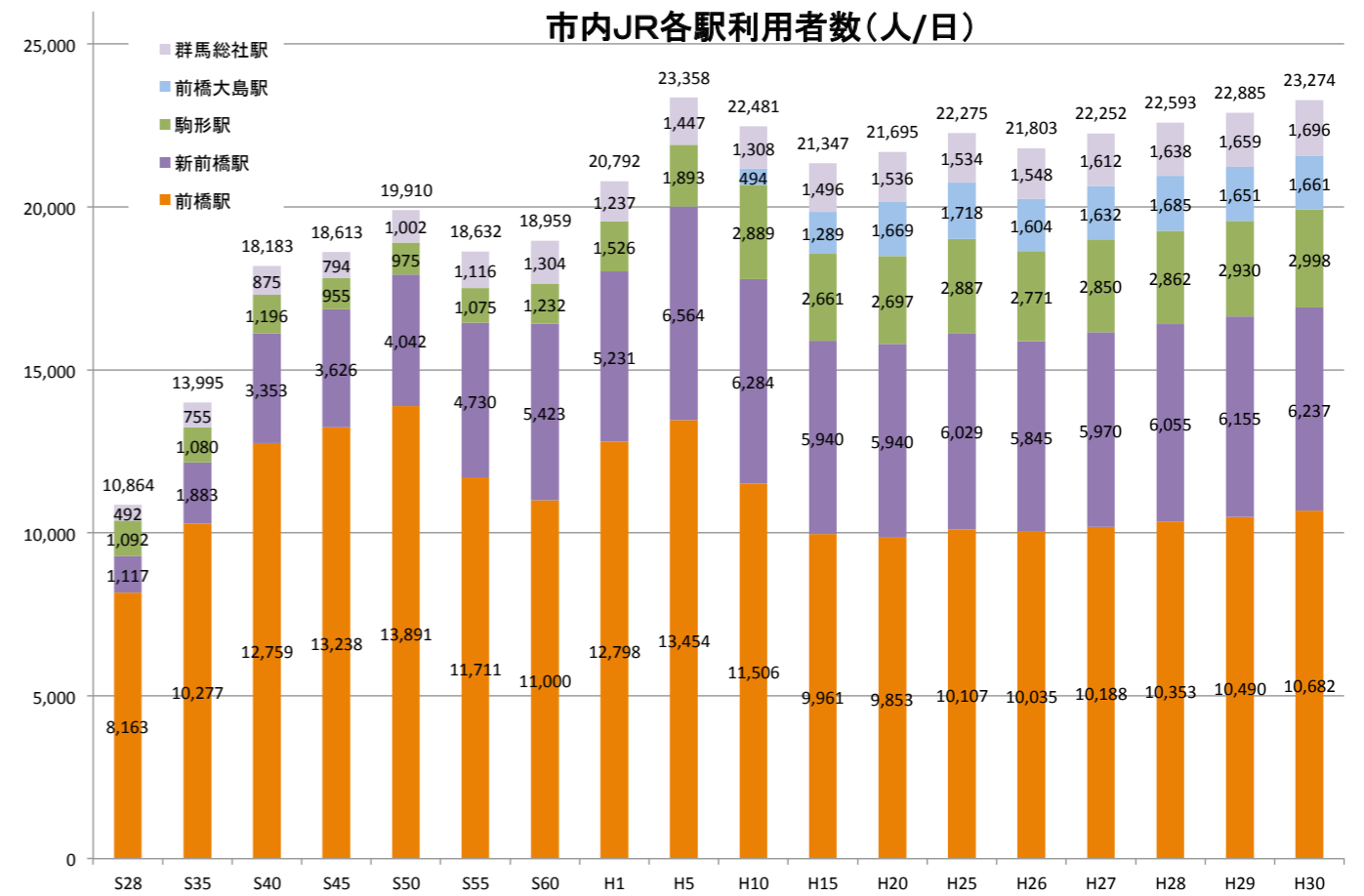
ゴサロビル

今年度末には、広瀬川河畔沿いで進められていた住友不動産のマンションと本町二丁目5差路交差点での新しい複合ビル『ゴサロビル』が竣工を迎えることとなり、まちなか居住の推進と賑わい創出に向けた環境整備が加速します。住友不動産社の開発担当者からは「広瀬川沿いでもう一棟マンションを建設したい」との要請を頂きました。前橋市は医療や住環境に恵まれているとの評価を購入者から得ているのが理由です。



東京建物が開発する26階建てのマンション

JR前橋駅の賑わいの取り組みも順調です。北口では東京建物が開発する26階建てのマンションが事業化に向けて具体的な調査設計を開始することとなりました。また長年の課題だった「エキータ」のビルを前橋市の経営者が購入されました。購入者は私の高校の後輩です。「前橋のために駅前ビルに賑わいを生みたい」という彼の言葉に大きな期待を抱いています。JR利用者の利便性向上になる応援を前橋市としても進めて、現在回復基調にある鉄道利用者をさらに増やすことができると期待しています。





広瀬川「河沿いのまち・エントランスゾーン」



広瀬川「緑と芸術・創造ゾーン」

来年度には臨江閣北の石川橋の新設工事が終わります。前橋市の誇りでもあるグリーンドームや臨江閣から上毛電鉄中央駅までの広瀬川河畔整備を2022年までに、国から3億円の助成を頂き改修を進めていきます。

前橋中心街再開発

事業者公募やり直し

計画と建設分離 契約は来年度へ

さらに、中心市街地活性化に欠かすことのできない8番街区周辺については、「千代田町中心拠点地区」として新たに検討が開始され、長年の懸案であった賑わいの核がよいよ本格的に動き始めました。前橋市の中心市街地の活性化には大切な事業です。11月に行った再開発の事業者公募では公募者が無く、12月に企画提案方式に公式を改めて再開発の公募をやり直し、現在審査などの手続きを進めています。市有地と多額の補助を支出する計画だけに公正性と将来性を確保しながら進めています。

客引きが占拠していた通りにカフェ前のウッドデッキや立ち飲みのテラスなどを設置するお店が増えてきました。道路使用許可を緩和していこうと思います。アーツ前橋のカフェ(ROBSON COFFEE)の前に、ウッドデッキが登場しました。民間企業からの寄付を頂きオープンカフェ事業として設置されました。前橋中心市街地が若者や女性同士のお客が増える為には気軽な憩いの場が必要です。



報告3 区画整理が前橋の東西南北で進んでいます。

各地で行われている区画整理事業に市民が自ら先頭に立っています。市民が自ら負担して行われる区画整理は完成すれば地域が変わります。

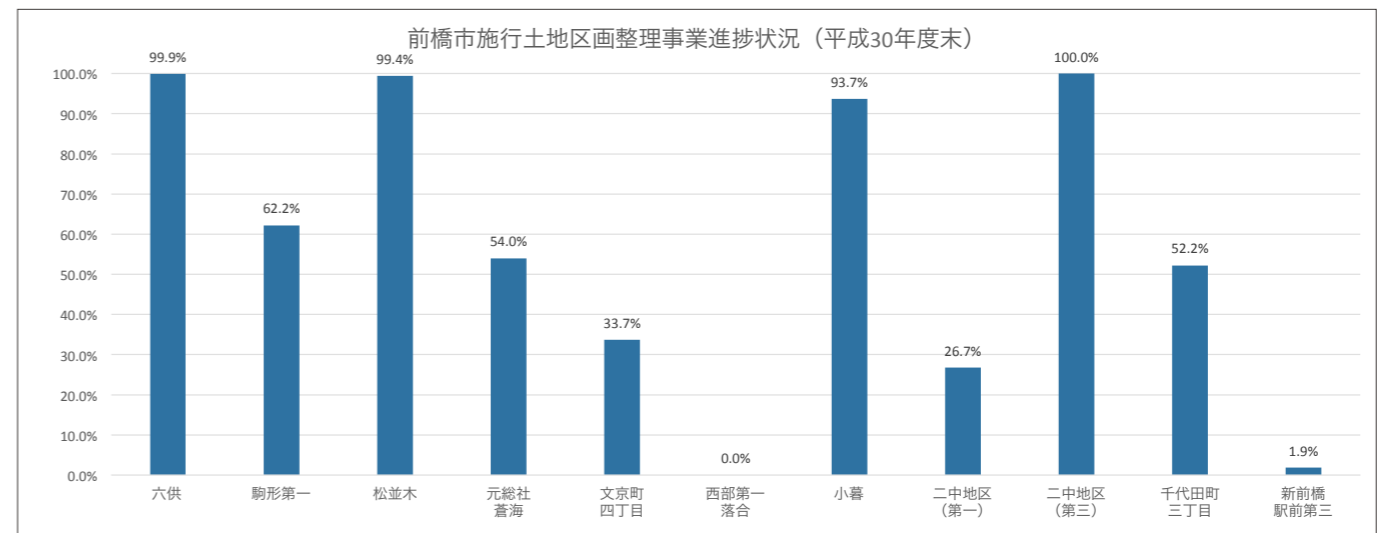
各地での区画整理事業についてその進捗を報告します

間もなく事業が完了する六供地区では人口が大きく増えています。前橋ではこの事業を現在12地区で取り組んでおります。ここ数年、全国の震災復興などのために政府の予算が削減されていましたが、今年の予算から回復しており、区画整理事業(二中地区や新前橋)、街路事業(群大北通り線、県庁群大線、上新田前箱田線)では前橋市の要求に対して100%の政府補助が内示されました。六供や松並木の地区のように終了段階の地区もあり、今後は事業進捗が進むように取り組んで参ります。

前橋市  
元総社蒼海で都計道2線  
工事費に1.7億確保



六供町も二中地区も街並みが変わりました



## 道路建設や公園整備は前橋再生の基盤です。 それぞれの計画資料や完成予想図を報告します。

### 県道—前橋玉村線の新橋

日赤病院への通院通勤の混雑緩和や救急車の搬送時間短縮の観点から現道の改良工事が進んでいます。



利根川新橋  
玉村町提供

### 江田—天川大島線の新橋

松並木から六供地区の清掃工業北、育英高校の新橋を経て高崎へ至る江田—天川大島線は現在、朝倉工区の整備中です。この工事が終了後、新橋の着手し小相木町の交差点の渋滞緩和や済生会病院との患者搬送時間短縮に向けて調査を今年度行います。



**提案** 六供—育英高校、前橋—玉村の利根川新橋については、群馬県と前橋市や玉村町の協力において検討を進めていきます。

### 群馬大学線の石川橋

臨江閣や東照宮、ルナパークの交差点から三中通りに至る群大線で残された工事である石川橋の改良工事も進捗しています。現在の橋はすれ違いが困難の為に付け替えを行っており、2021年に完成予定です。



**提案** 将来は石川橋から中央駅までの広瀬川周遊が楽しめるように検討を始めます。

### 赤城県道、青柳交差点東、北代田観音橋

昨年、市立前橋高校の学生が事故に遭われた赤城県道周辺の道路改良が群馬県と前橋市の連携で進んでいます。群馬大学から東に向かい、石井県道に至る観音橋の工事も国からの補助が満額付いて進んでいます。また赤城県道の安全工事も県の積極的な取り組みで推進中です。



敷島公園  
大師線

**2期拡幅で着工準備**

県前橋土木 **2橋架替えと共同溝**  
赤城山線も拡幅事業着手

### 各地で様々な整備が進んでいます

#### 西毛広域幹線道路

イオンまでの西毛広域幹線道路が完成しました。前橋市元総社では区画整理事業で道路を生み出しました。



産業、経済、観光の発展を担うことが期待されます

#### 上新田—前箱田線

東地区の東西の交通不便の解消に一歩前進しています。





## 国道50号線（拡幅）

国道として国が工事を進めています。市役所も土地交渉などをお手伝いしています。桐生から50号今井交差点で上武国道に入れるようになります。



50号の拡幅により城南消防署も移転

## 南新井—前橋清里 駒寄IC

吉岡町との連携で進めてきた駒寄ICの工事にも着手目前です。榛東村役場から上武国道を結びます。工業団地の開設も視野に入れつつ進めています。



吉岡町との地域連携を推進

## 荻窪公園

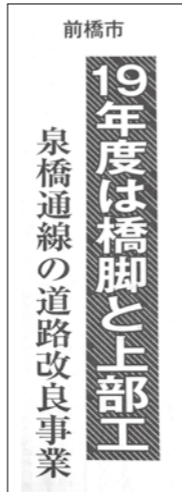
現在、造成中です。市民の憩いの場が生まれます。



荻窪公園イメージパース

## 泉橋通り線

泉橋通りも完成の目途が立ちました。



## 群大附属中通り

附属中学校の生徒の為に、地域の方々の理解によって安全対策が進んできました



現況



改良後（イメージ）

## 市民総合運動公園の整備

今年の水路の付け掛けや駐車場の整備を行います。また市民球場のフェンスなどの改修も設計を委託しました。



市民総合運動公園イメージパース

## 大渡体育館

利根西部地区の社会体育館として整備計画が議決されました。



大渡体育館イメージパース

## 粕川公民館アクセス線

粕川の公民館への道が地域の方々の力で路線確定が行われました。測量設計が議決されました。



## 自治会からの道水路要望の達成率を拡大します

自治会から要望される道路や水路の整備も身近な暮らしを支える大切な事業です。私は出来る限り自治会から要望がある地域の道路や水路などの整備には、その緊急性を確認しながら前向きに進めるよう取り組んで参りました。しかし、平均すると着手率は30%くらいに留まっています。今年秋の議会に補正予算をお願いして、この数字を50%にまで拡充できるよう議会と相談します。そうすることで、これまで手が付かなかった部分（地域）にも取り掛かる事ができるはずで

自治会要望達成率 30% → 50%

## 群馬総社駅も変わります

朝晩の通勤通学で、市民による大渋滞が発生する群馬総社駅ですが、地域の要望で西口と駅舎の改修に動き始めています。駒形駅のような橋上駅舎を目指してJRとの協議を始めました。総社地区は人口が増加中ですが、更なる起爆剤になると期待されます。



橋上駅舎（駒形駅）

## 報告4 環境都市前橋のための取り組み

### 「水と緑と詩のまち」の宣言通りに、環境と森林を大切に作る施策を進めて来ました。

### ごみの減量と清掃工場の延命化

前橋では市民の皆さんの協力のお陰で、ごみの排出量は年々減少しています。これは、皆さんがごみの発生抑制に努めていただくとともに、分別の徹底や3R（リユース・リデュース・リサイクル）運動が進んでいる成果です。しかし、まだまだ可燃ごみの中にはリサイクルできる紙類やプラ容器などが含まれています。更なるごみの減量と分別の徹底について、皆さんのご協力をお願いします。ごみが減れば、処理コストも減少し、市民に還元することができます。新しい清掃工場は造らずに六供清掃工場の修理で済ませることが出来ました。さらに亀泉と大胡の清掃工場は廃止することが出来ます。そうすることでさらなる市民還元が出来るのです。



亀泉清掃工場



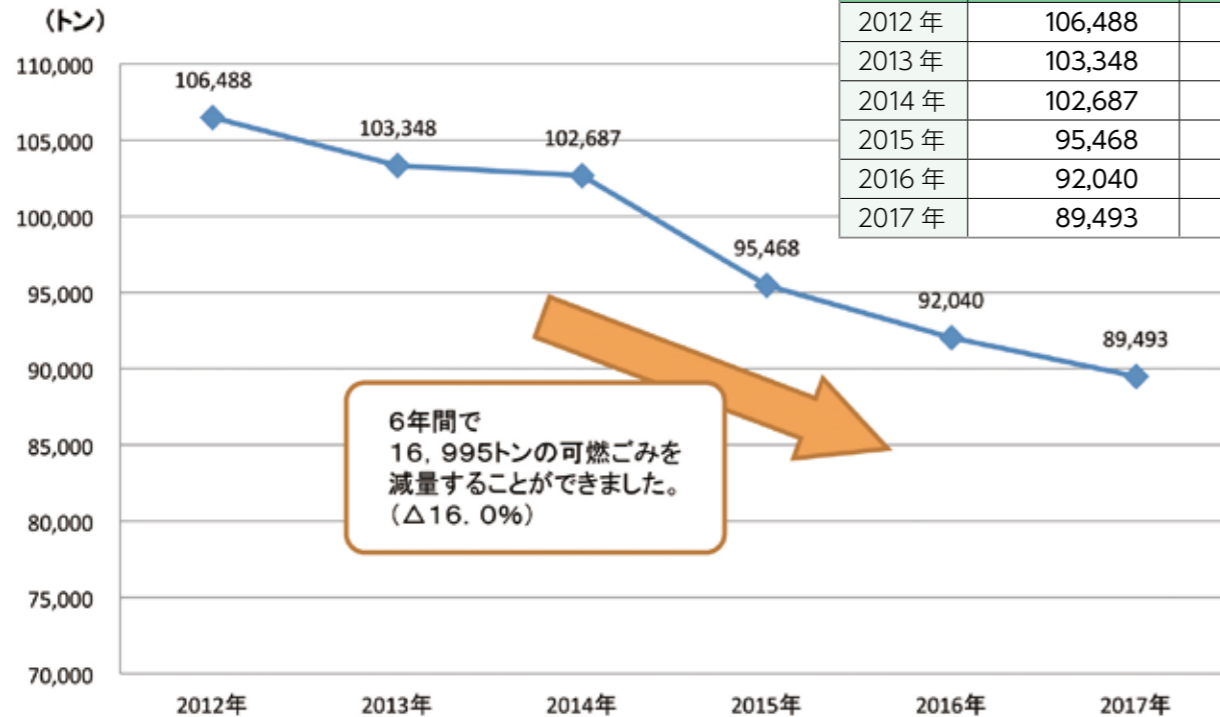
大胡クリーンセンター

## 可燃ごみ排出量の推移

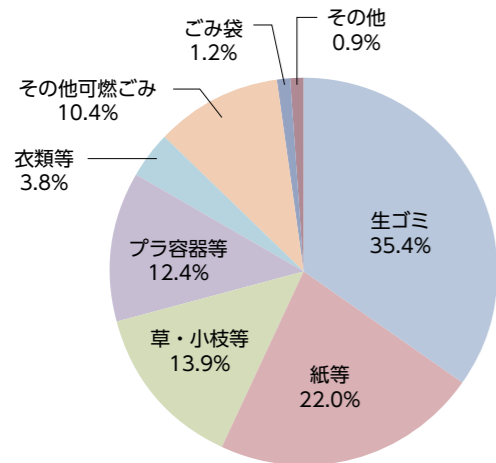
### 排出量の推移

年度	可燃ごみ排出量	ごみ総排出量
2012年	106,488	132,650
2013年	103,348	130,647
2014年	102,687	130,306
2015年	95,468	122,121
2016年	92,040	117,431
2017年	89,493	114,350

(単位: トン)



## 平成 29 年度 可燃ごみ組成調査



## お願い

ごみが減れば、処理コストも減少し、市民に還元することができます。新しい清掃工場は造らずに六供清掃工場の修理で済ませることが出来ました。さらに亀泉と大胡の清掃工場は廃止することが出来ます。そうすることでさらなる市民還元が出来るのです。



## 赤城の森林資源をもっと活用しよう

前橋市では林業作業班による市有林の整備や伐採を行っています。赤城の森林資源は眠っている宝ですから今後、積極的な活用を進めます。

## 太陽光の利益から公園の美化や子ども会の古紙回収を応援

前橋市の所有施設や市有地に設置した太陽光発電の利益が昨年末で1億2千万円に達しました。そして、このお金の一部を環境や地域の美化活動に使うことにしました。例えば、2018年からはたくさんの公園を管理する地域の自治会を中心にした「公園愛護会」への助成の増額と有価物の集団回収の助成金もキロあたり1円増額しました。

## 報告5 農業都市を目指してきました。

現在前橋市は全国1500の自治体で15番目の農業生産を誇っています。そのため、農業所得を拡大し、ブランド力を向上させるために耕作放棄地対策や高齢農家の営農継続など様々な農業支援に取り組んで参りました。

### 農業委員会による耕作放棄地マッチングも進みました

前橋市の農業委員会は全国で最も積極的に耕作放棄地の解消に取り組んでいます。

### 農協など生産団体との協働

J A まえばしと協働して都内の市場で前橋産農産物の宣伝会を定期開催しています。肉牛のオレイン酸測定や農産物の災害被害の救済など、連携を密に行いました。



### 赤城の恵ブランド認証でたくさんの赤城に宝を磨いています

前橋から生み出される農産品やその加工品を認証する「赤城の恵ブランド認証制度」は、豊かな自然、独自の技術などを活かして生産された産品を、前橋独自の基準で認証する制度です。

### 道の駅による農業ブランド化と農業所得向上

前橋のブランド農業産品を全国に発信するショーウィンドーが上武道路の道の駅です。2021年のオープンを目指しています。「重点道の駅候補」に指定され、国からの支援を受けることが出来ます。予算節約のために国土交通省との一体型整備を行い、株式会社ヤマトさんと建設や運営を分担方式にしました。この道の駅は最終目的地としてではなく、他の道の駅や直売所と連携し、赤城山観光の拠点にします。ここに立ち寄ったお客様を赤城山や前橋市内へ観光案内所も設置することで周遊させる仕組みを考えています。



道の駅イメージパース



前橋市は農業生産額が全国15位の農業都市です。そして市内には、お豆腐、焼き鳥、餃子、お漬物など、全国有数の食品会社があります。これらのブランドを、道の駅から発信するのです。

### 豚コレラ・防疫体制への取り組み

前橋市の農業の軸である野菜や畜産は『安心』を一番の売りにしたブランドです。そのためにも、現在岐阜市、愛知県で流行している豚コレラの防疫体制は重要であり、前橋市は群馬県や猟友会、JA、そして農家と協力してその防疫体制を進めています。先日、豚コレラ発生を想定した参集訓練を実施したところ、上毛新聞に掲載して頂きました。



### 農業と福祉の連携

前橋市に5つ目の障がい者雇用を進める特例子会社・パーソルサンクスが誕生しました。(親会社は人材派遣会社大手のパーソル) 授産事業はハーバリウム作りです。前橋市の花卉栽培農家から草花を購入して作るそうです。私は7年間、このような障がい者授産事業が増えることを目標として取り組んできました。今回のパーソルサンクスさんの事業は、前橋市の農業との連携を前提にした福祉作業です。



農福連携の取り組みが、TVでも報道されました



パーソルサンクスのハーバリウムは地元の花農家と連携します

企業名	業務内容	雇用している障がい者
(株)フレッセイヒューマンズネット ※親会社：(株)フレッセイ	パック詰め・包装	11人
(株)セントラルリリーフ ※親会社：(株)セントラルサービス	データ入力、デザイン作成等	14人
(株)ジズノーマ ※親会社：(株)ジェイアイエヌ	農作業の受託	24人
日新ハートフルフレンド ※親会社：日新電気	文章電子化サービス	3人(※雇用予定)

## 報告6 スローシティは食文化の発信です。

赤城の山麓こそ都会から人を呼び込む魅力があります。この魅力を磨いて発信する為に「スローシティ」があります。

### スローシティへの取り組み

前橋市が20年間交流しているイタリアのオリビエート市がスローシティの本部であったご縁で、赤城山の大胡・宮城・粕川・富士見そして芳賀地区をスローシティとして国際連盟に登録することが出来ました。スローシティ運動は単なる観光キャンペーンではありません。赤城南麓の歴史や文化、郷土食やこだわりの農林産物の数々に誇りを持って世界へと発信する活動です。そのために様々なチャレンジを市役所と市民とで連携して行います。

### 移住の受け皿としてのスローシティ

赤城の田園や自然環境を旅行や移住の受け皿にしたいと考えました。さっそく古民家活用のプロジェクトや移住の呼び込みが進んでいます。まずは富士見の太陽殿さんの北にある、大きな古民家からチャレンジが始まっています。この古民家は所有者のご好意によって移住コンシェルジュの鈴木正知さんが無料で借り受けて、民泊ホテルへと生まれ変わろうとしています。鈴木正知さんと65名のボランティアの皆さんで古民家大掃除を行う様子が群馬テレビに取り上げられました。

#### お願い

古民家をもっている方、活用したい方は市役所までご連絡ください。  
担当:政策推進課



### この本に出会って、赤城の価値を知りました



「なぜイタリアの村は美しく元気なのか／宗田好史著・学芸出版社」は私のスローシティへの取り組みのバイブルになりました。イタリア経済界で活躍した前橋市出身の小林氏から紹介された本です。この一冊から私は「古いモノに新しい価値を付加することが前橋市の再生の鍵」だと感じました。スローフードとは地元の手間を掛けた食を大切にすることです。この本の序文には「イタリアの各地に広がる美しい風土。ふくよかなチーズ。香り高いワイン。香ばしい肉や魚料理。このイタリア農村の魅力は昔からずっとあったわけではありません。」と書かれています。イタリアの農村はスローシティへの取り組みで過疎や高齢化から復活しました。きっと前橋にもできるはずです。

スローシティは地域のこだわりの食を大切にスローフード運動です。そのためには以下の要素も大切になってきます。

- 広大な農村の美しさ
- 歴史的行事や環境、景観、文化の豊かさ
- グローバル社会に流されない食の美味しさ

赤城山もやればできる筈です。前橋市も赤城の山裾に多くの農業集落がたくさん存在しています。明治の近代史の原動力になった蚕業・製糸産業景観でもありました。この巨大な空間に新しい価値を生み出すためのキーワードは「古いモノに新しい価値を加えること」です。

例えば・・・

- ・ヤギ、ブラウンスイスのチーズ
- ・羊の肉や羊毛クラフト
- ・地ビールや地ワイン、そして伝統の日本酒
- ・おばあさんのそばやうどん、赤城深山そば 100%
- ・地産の食材専門の料理店（みどり提灯の店）
- ・古い農家や納屋を改装し、民泊やレストランへ
- ・小川に水車、染物が流れている風景
- ・芸術家のアトリエ

このように多様な「暮らしぶり」のピースを一枚の絵に構築する力がスローシティにはあります。赤城には赤城のやり方があります。それはふるさとへの誇りを大切にすると、地域のひととの「絆」です。



### 赤城山はひとつ! 環・赤城山自治体連携を始めました

赤城を囲む自治体の連携した取り組みが重要です。3月に前橋・桐生・みどり・渋川・昭和の5つの自治体で第一回会議を開催し、様々な連携をしていく事で合意しました。将来的には赤城山麓に広がる前橋～桐生～みどり～日光～片品～沼田～昭和～渋川を含めた「ぐるっと赤城山連携構想」を目指したい考えです。

- ① 自転車周遊コースと自転車ステーションの設置
- ② 民泊や古民家カフェなどの開設支援
- ③ 観光農園や6次産業の推進
- ④ 周辺自治体の有害鳥獣駆除の一斉実施
- ⑤ 首都圏へのキャンペーン展開

以上のことについて連携することを決定しました。



## 報告7 教育都市をつくるための取り組み

子どもを育てやすい前橋にするための取り組みを、7年間積み上げて参りました。前橋は全国的にも子育てしやすい都市だと評価を得ています。

### 校長裁量予算が学校の負担を減らしています

学校長が自分の学校を主体的に運営するには予算の裁量権も必要です。何でもかんでも、教育委員会にお伺いすることは改めようと考えています。

### 迅速な対応で虐待を未然に防いでいます

前橋市では「家庭見度相談室」を設置しました。虐待のケースワーカー3名・相談員2名が群馬県の児童相談所と連携し、虐待情報を受けた48時間以内に被害が疑われる児童の状況確認を行っています。毎年100件の通報があり、現在200件の継続観察を行っています。

### 前橋市のいじめ対策専門チームをつくりました

担任に負担を掛けないように専門チームが問題対応するシステムです。ひとつのいじめ問題が発生してクラスが混乱し、担任教師が通常のクラス指導の他に問題を抱えることによるストレスを減らすための制度です。「いじめ」や「虐待」に気が付けば直ぐに通報下さい。

**あなたのSOSを!**

SOSを出すことは

恥ずかしいことでも

弱いことでもなく

とても大切なことです

**ご家庭の皆さん 幼児・児童・生徒の皆さんへ**

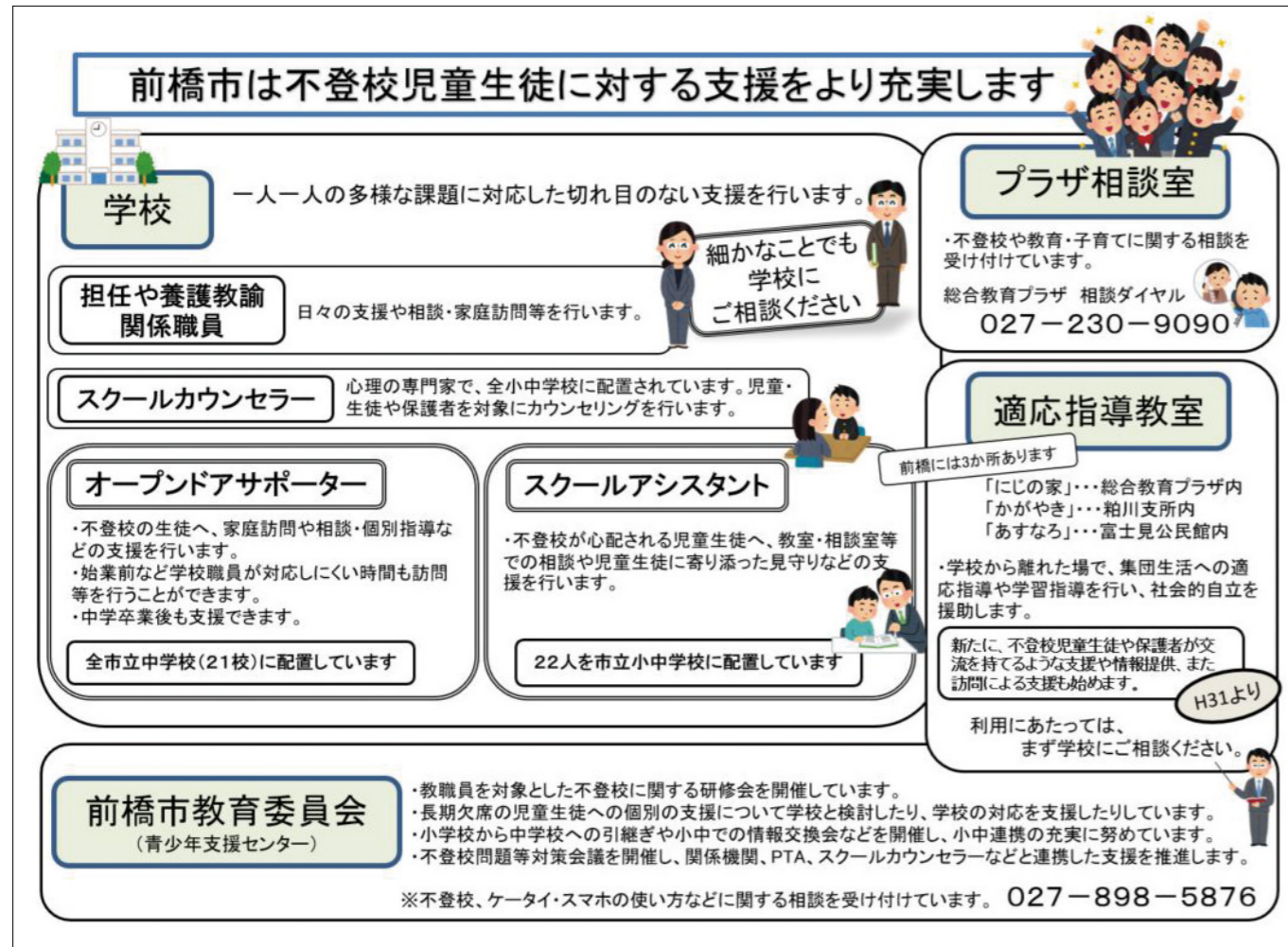
前橋市立学校・園は、一人一人のより良い成長を実現するために、皆さんの意見や不安を聞き、一緒に解決に向けて取り組んでいます。小さなことでも気軽に相談をしてください。学校・園へ相談しづらいときや緊急のとき、前橋市には裏面の相談機関がありますので、ご活用ください。

**問題を発見したら、189へお電話ください!!**

**緊急時の児童相談所共通ダイヤル ▶▶▶ ☎189 (いちはやく)**

## 不登校対策に力を入れています

前橋市教育委員会の不登校児童生徒への支援の流れです。特にオープンドアサポーターという不登校生徒への家庭訪問や相談指導をおこなう仕組みは、担任の教師に負担を掛けずに自宅へのアプローチを行うという点で画期的です。



## 学校クラーク(校務補助員制度)で教師の負担を軽減

前橋ではこの制度を2016年から始めました。今では中学校7校に配置されています。教員はプリントの印刷や提出物のチェック、教材費の集金など様々な事務に追われており、これが教員の多忙さの一因となっています。そこで、こうした事務を担う校務補助員を学校に配置を始めています。

## 病児保育が充実してきました

子どもが突然の発病、でも仕事を休めない働く保護者を応援する仕組みが年々充実してきました。現在3か所目の開設を民間の医療機関が取り組んでいます。

## すべての小学校で学童保育を開設

さらに6年生までの児童を預かれるように定員の拡大を進めています。働くお母さんを応援しています。

## インターナショナルスクール

埼玉県でインターナショナルスクールを運営する民間法人が前橋での開校を予定しています。アメリカ政府の認定校です。前橋に新しい教育の受け皿が出来ることは有り難いと考えています。



## めぶくプラットフォーム

「めぶくプラットフォーム」という人材養成制度が始まります。

地域人材養成は市役所だけではなく、前橋市の企業の皆さんから将来の人材確保の為に寄付を頂き行います。この「めぶくプラットフォーム」はふるさと納税寄付を基金基盤として運営したいと前橋市の6校の大学や前橋商工会議所をお願いしています。

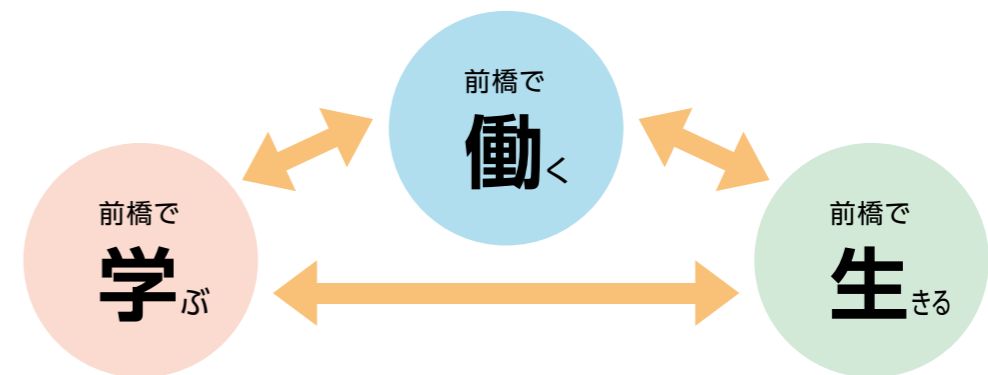
めぶく。プラットフォーム前橋が取り組むべき方向性

## 「地域人材の育成・定着」

前橋市のビジョン「めぶく。～良いものが育つまち(Where good things grow.)～」には、「前橋の未来に向かって、これまで大切にしてきたまちの誇りや可能性を受け継ぎ、磨き育て、新たな価値を生み出しながら、将来を担う子や孫たちの世代に未来への糧として繋いでいくことを、ここに暮らす全ての人で実現する」という想いが込められています。

この街では、ビジョンのもと、学びたい者は大きな繋がりの中で豊かに学び芽吹くことができ、働きたい者は支える仕組みに励まされながら伸びることができ、仕事を承継させたり生涯にわたり活躍したいと願う者は新たな知見を得て実り継ぐことができる。

私たちは、ここ前橋で、個々が自分らしく光輝くために、人材を芽吹かせ、はぐくみ、根付かせていきます。



## タイガーマスク運動で児童養護施設の卒園生を応援

施設で暮らす子どもの夢を応援する制度が始まっています。児童養護施設から社会で働き始める若者を応援するために「前橋市ふるさと納税：タイガーマスク運動への寄付」を開設しました。全国からの寄附金は3千万円にもなりました。市内の児童養護施設に毎年、支援金をお渡ししています。



## 生活保護世帯への「まえばし学習支援」

生活保護世帯及び生活困窮世帯に属する中学生へのマンツーマン方式の学習支援を行っています。貧困の連鎖を学びで解決しています。

## 「地域寺子屋事業」をスタート

地域の善意から学びの場が生まれました。前橋市教育委員会では、地域の公民館等で生徒主体の学習活動を支援することで、生徒が自分の学力を伸ばすとともに、社会性や人間性を育めるように、2016年度より中学生の学習支援を行っています。

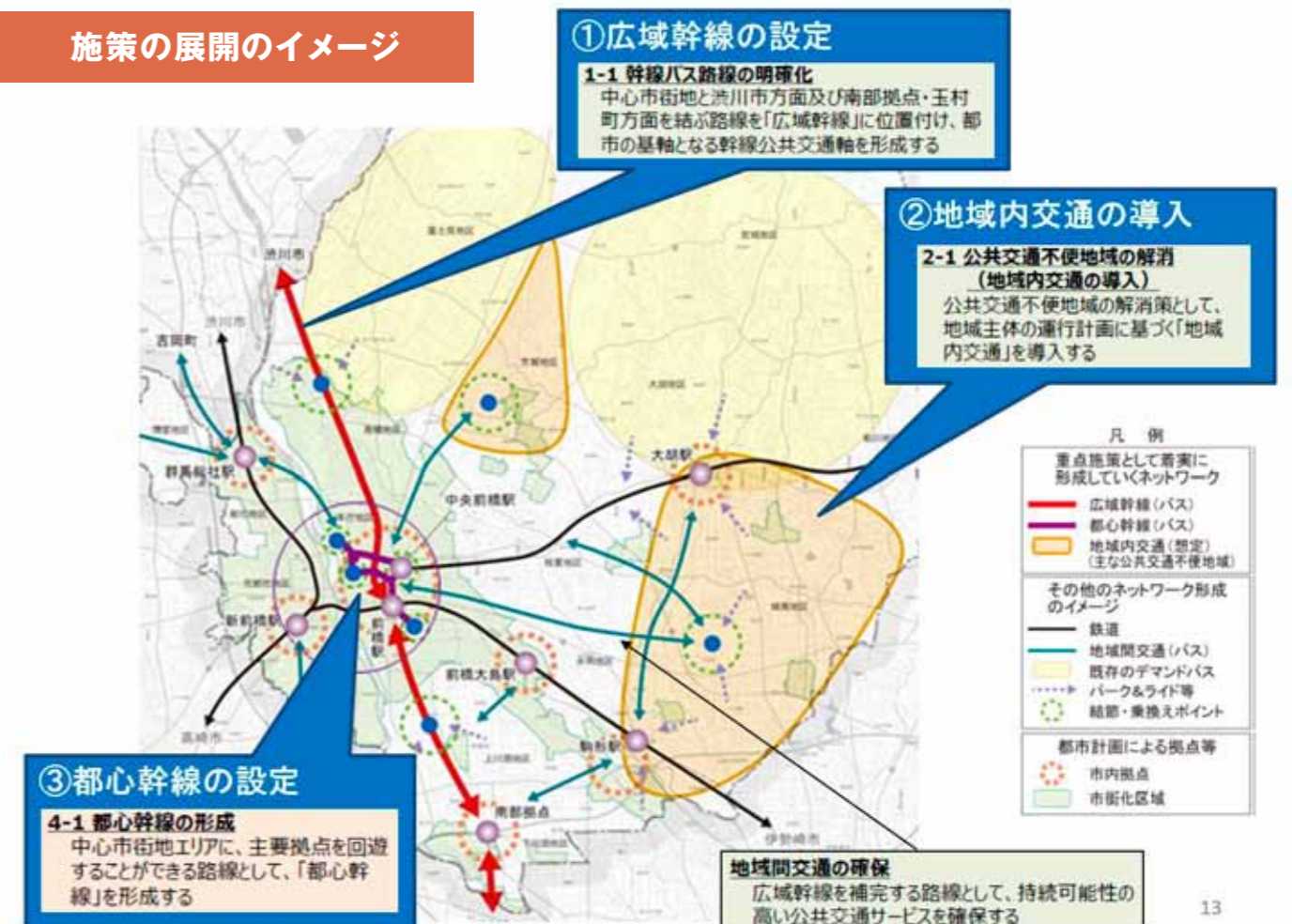
## 報告8 便利な前橋の交通をつくるための取り組み

前橋市の交通への取り組みは全国でも先進的で、様々な報道で取り上げられています。前橋市は群馬大学と連携し、JR前橋駅ー上電中央前橋駅間で、全国初の自動運転バスの営業運行を行っています。バスの運転手不足を補い、幹線となるバス路線の充実とマイタク、JR、上毛電鉄など連携で使いやすい公共交通網を構築してきました。

### 全国初! 営業運転バス自動運転への取り組み

日本中から注目されて、視察も相次いでいます。3月で実験は終了し、9月からは本格運行が始まる予定です。JR前橋駅ー上電中央駅間の運行を伸ばして行きたいと思っています。南はケヤキウォーク、前橋工科大学、日赤病院から南部モールへ、北は群馬大学病院から上武国道の「道の駅」まで延長できるでしょう。併せて東西の路線も企画していきたいと考えています。

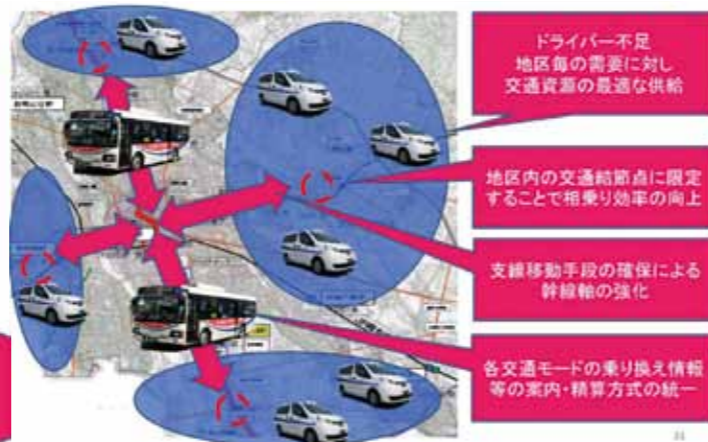
### 施策の展開のイメージ



## マイタクをもっと便利に



## マイタクの利用促進を拡充



## 自動運転バス南北・東西の運行



南北幹線  
群大病院—中央駅—前橋駅—日赤病院を2年後に結ぶ。  
さらに渋川—玉村延伸  
東西幹線  
東地区、元総社、清里・総社—城南の実施を検討

## 自家用車が無くても安心・便利なシステムを構築

昨年の11月から大胡・粕川・宮城地区を走る「ふるさとバス」と富士見地区を走る「るんるんバス」のAI(人工知能)による運行を始めました。加えて、城南地区では乗り合いタクシーの試験運行も行いました。これに中心市街地を走る「マイバス」、さらにはタクシー運賃を補助した「マイタク」もより一層便利になるよう取り組んでいます。利便性を高めるために、スマートフォンでの予約や相乗りを進めます。自動運転バスの幹線路線と地域ごとのAI相乗りバスやマイタクの整備を行い、買い物や病院通いが出来るようにしていきたいです。車に乗らない市民が増えていく時代に、手軽に移動できる手段の構築を目指します。

## どこへも迎えに行ける、どこへも移動できる AI配車アプリの活用



## 報告9 ICTの活用で不便を解決してきました。

### 地方行政が抱える社会課題をICTの技術によってお金を掛けずに解決したいと取り組んできました。

市長に就任した2013年から総務省の情報通信に精通する若手の人材を前橋市情報政策の責任者として派遣を受けてきました。そして幸いにも総務省の事務次官に前橋高校の二人の先輩が就任されるという幸運にも恵まれました。私は総務省のICT利活用検討委員に選ばれ、政府への提案を申し上げる機会を得ました。図で報告します。

## 前橋モデルの将来構想



前橋市スポーツ協会を応援しています

前橋市スポーツ協会に3,800万円の補助金を交付して、いろいろな事業を行っていただいています。主な事業としては、市民スポーツ祭の開催(39競技)、地区市民運動会の開催(23地区)、スポーツ少年団の育成、ジュニアの育成などです。スポーツ施設のネーミングライツの収入から200万円をジュニア育成費の充実と、各地区体協の新規事業への支援に配分しました。

スポーツの大会誘致が成功しています

前橋スポーツコミッションはスポーツによる観光振興を目的に、平成27年4月に設立されました。スポーツ大会等の誘致及び開催支援については「スポーツ大会等開催助成金制度」を設け、ブロック大会(群馬県を含む4県以上)や全国大会に最大で100万円の助成金を交付して、平成30年度までに、本市で105の大会が開催され、78,400人の方々が参加し、延べ97,600人が宿泊したことで大きな経済効果を生み出しました。これは充実したスポーツ施設を持つ前橋市がスポーツ大会の誘致を通して経済効果を得るためのプロジェクトです。今後のオリンピックやインターハイ、国体などに結び付けていくためにも、色々なチャレンジをしていきます。



トランポリンワールドカップ前橋大会の誘致に成功しました

オリンピックのキャンプ誘致

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて国際理解の促進と親睦を深めることで、外国の人達へ向かっての前橋を発信したいと考えます。前橋市では早くから日本オリンピック委員会に対して招致活動を行ってきました。それはスポーツ都市前橋の宣伝になり、経済効果があるからです。すでにスリランカ、ベラルーシ、ハンガリー、ベルギー、コロンビアのパラリンピックチームのキャンプ地が内定しています。これらのキャンプ期間中は、海外の選手と市民の皆さんとの交流事業も開催して、東京オリンピック・パラリンピックに向けて機運を盛り上げます。なお、聖火リレーが前橋で行われます。群馬県を中心に、リレーのコースやランナーの人選などについて協議します。



ハンガリーの若手選手が前橋市立みづき中学校で練習



スリランカ

ベラルーシ

ハンガリー

ベルギー

コロンビア



南スーダンからの長期キャンプ受け入れ

6月からオリンピックに向けて練習する南スーダンの選手たちを受け入れます。前橋市は予算を使わずに全国へ「選手滞在費寄付」を呼びかけています。南スーダンは2011年に独立した世界で一番若い国です。避難民は400万人以上いるといわれています。国連も平和促進を掲げています。

お願い

南スーダン選手の事前トレーニングを受け入れ、平和促進に取り組みます。この事業に必要な資金を、クラウドファンディング型ふるさと納税で募集します。目標金額は2千万円。南スーダンの平和のために、ご協力をお願いします。

前橋-渋川シティマラソン

出場の皆さんや大会運営にご協力いただいた警察や消防、ボランティア、協賛企業の皆さん、ありがとうございました。5千人のランナーと1千人のボランティアの皆さんのお力により運営されました。熱中症や転倒などの発生はわずか5件ほどにとどまり、前回の反省が活かされたと感じております。引き続き、運営についてのアドバイスなどがあればご意見ください。



鳥居デザインの帽子が、赤城への愛情を感じさせます

トライアスロンのトレーニングセンターが始まりました

赤城山の裾野・富士見の時沢で、アスリート市民が運営します。名前は「PEAKS AKAGI」です。小さな施設ですけど、可能性に溢れています。青年はその施設を【トライアスロンの寺子屋】だと表現しています。これまで赤城には無かった新たな価値です。

ミシュランが主導する世界都市連盟に加盟

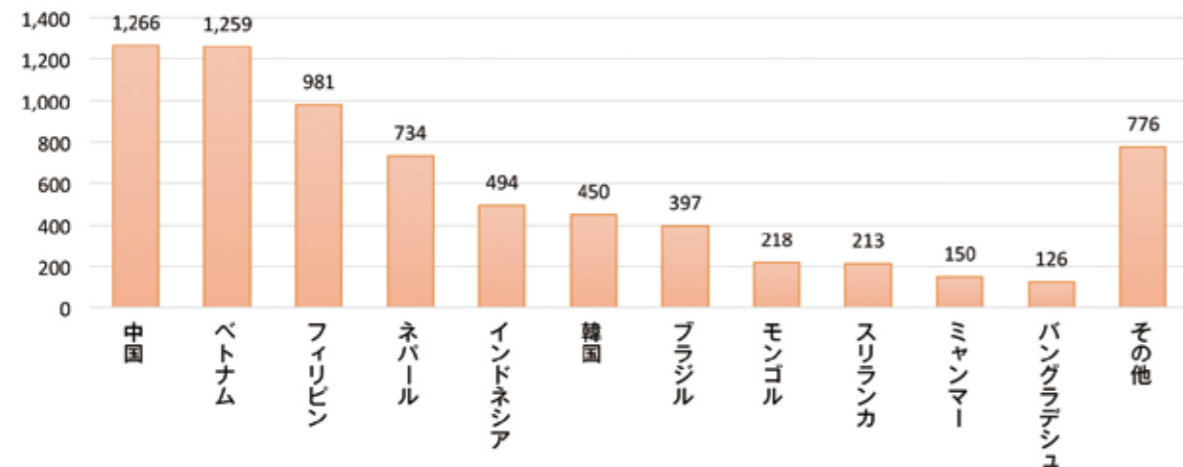
世界の動きと連動する時代になりました。様々な都市の優れた取り組みを学び、前橋のさらなる発展に活かしていくつもりです。





現在、前橋には7千人を超える外国人留学生や技能実習生をはじめ、多くの外国の方が暮らしています。彼らが前橋の会社で働いてもらえるように外国人にとっても住みやすいまちを目指すとともに、日本のルールを理解していただくための取り組みを進めてきました。

市内在住外国人数（31.4.30現在）



外国語パンフレットの制作

外国人の学生さんに前橋市の観光パンフをそれぞれの母国の言葉で制作してもらっています。現在、中国語、ポルトガル語、台湾語、ベトナム語、ハンガリー語、英語、イタリア語、インドネシア語、スペイン語の10か国のパンフができました。



まえばしカラオケ・ワールドカップ

前橋市で学ぶ留学生を対象に、6月2日「まえばしカラオケ・ワールドカップ」を開催します。全ての経費が民間の提供です。市と前橋市内の日本語学校とJICAが中心に実行委員会をつくって主催します。まねき猫のコシダカさんからも、多くの協賛を頂きました。このイベントでは、留学生が日頃の日本語勉強の成果をカラオケで発表します。学生同士や地域の方々との親睦を深めること、また学生が発信するSNSによって前橋市の取り組みを世界に向けて発信するイベントです。外国人在住者の支援と定着につなげたいと思います。

前橋市にある建築物が様々な利用方法によって市民活動の場や文化活動の場になっています。もっと活用事例を施行しながら、その施設にあった整備に進んで行きたいと思います。

様々な団体や施設が取り組んでいる活動を紹介します。

お願い

オリンピックに訪れるインバウンド誘致には日本文化が大きなコンテンツとなります。市民の力を貸してください。



前橋市文化協会の活動を応援しました

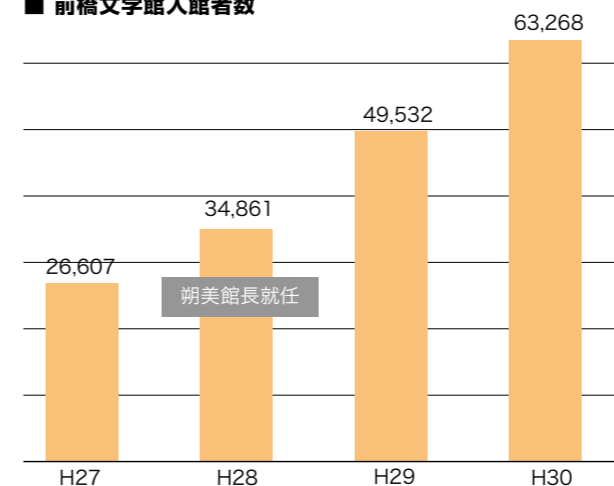
25部門、4支部（大胡、宮城、粕川、富士見）が様々な活動を行っています。第41回前橋市民芸術文化祭では事業数（部門数）：23部門が参加者数：22,422名の市民にご参加頂き、行われました。「まえばし和の文化のつどい」は臨江閣にて1,000名の方をお招きし、開催されました。ネーミングライツの資金から子どもや未経験者の大人を対象とした体験教室を充実させていく事になりました。

アーツ前橋による発信

アーツ前橋によって全国・全世界からアーティストを呼び込んでいます。これまでアーツ前橋は、地域にゆかりのある作家の作品を調査し、収蔵や展覧会の企画を行ってきました。また、アーティストが市内に滞在して作品制作を行う事業など、市民とアーティストが継続的に関わってきました。昨年10月には中心商店街からの提案で街頭にアート作品を展示する企画展を開催しました。こうした取り組みが評価され、地域創造大賞（総務大臣賞）を受賞しました。



前橋文学館入館者数



朔太郎記念前橋文学館が大変化を起こしています

朔太郎のお孫さんである萩原朔美氏を朔太郎記念文学館の館長にお招きしてから多くのお客様を呼び込み、入館者数は数倍にまで伸びています。文学館は朔美館長のアート魂に彩られます。朔美館長の力で広瀬川周辺がカッコよくなりました。

## 明寿大学が果たしている前橋市の人材教育がすごい

いくつになっても自身を磨こうとする姿に私は感動します。そして、その力で前橋と社会をより輝かせてほしいと願っています。今後も明寿大学の学習内容を拡充していきます。



## 前橋学センターと歴史都市を磨く

それぞれの文化事業を継承して下さった市民と手島仁センター長によって、様々な歴史に磨きが増してきました。歴史学芸員の皆さんの努力で上毛新聞社から発行される「前橋学ブックレット」は前橋の歴史の教科書であり、市民力の証明です。現在18巻が発行されました。



## 前橋学ブックレット(既刊案内)

- |  |   |
|--|---|
| <p>① 日本製糸業の先覚 速水堅曹を語る(2015年)<br/>石井寛治/速水美智子/内海 孝/手島 仁</p> <p>② 羽鳥重郎・羽鳥又男読本<br/>—台湾で敬愛される富士見出身の偉人—(2015年)<br/>手島 仁/井上ティナ(台湾語訳)</p> <p>③ 剣星 上泉伊勢守(2015年)<br/>宮川 勉</p> <p>④ 萩原朔太郎と室生犀星 出会い百年(2016年)<br/>石山幸弘/萩原朔美/室生洲々子</p> <p>⑤ 福祉の灯火を掲げた宮内文作と上毛孤児院(2016年)<br/>細谷啓介</p> <p>⑥ 二宮赤城神社に伝わる式三番叟(2016年)<br/>井野誠一</p> <p>⑦ 楯取素彦と功德碑(2016年)<br/>手島 仁</p> <p>⑧ 速水堅曹と前橋製糸所<br/>—その「卓犖不羈」の生き方—(2016年)<br/>速水美智子</p> <p>⑨ 玉糸製糸の祖 小淵しち(2016年)<br/>古屋祥子</p> <p>⑩ 下馬將軍 酒井雅楽頭の菩提寺 龍海院(2017年)<br/>井野修二</p> | <p>⑪ ふるさと前橋の刀工<br/>—古刀期～近現代の上州刀工概観—(2017年)<br/>鈴木 叡</p> <p>⑫ シルクサミットin前橋<br/>—前橋・熊本・山鹿・宇都宮・豊橋—(2017年)<br/>前橋学センター編</p> <p>⑬ 老農・船津伝次平の養蚕法(2017年)<br/>田中 修</p> <p>⑭ 詩のまち 前橋(2018年)<br/>久保木宗一</p> <p>⑮ 南橋地区の筆子塚からみる庶民教育(2018年)<br/>南橋地区歴史文化活用遺産委員編</p> <p>⑯ 上川淵地区の伝統行事と祭り(2018年)<br/>上川淵地区郷土民俗資料館編</p> <p>⑰ 富士見かるた(2018年)<br/>富士見地区歴史文化遺産活用委員編</p> <p>⑱ 下川淵カルタ(2018年)<br/>下川淵地区歴史文化遺産活用委員編</p> |
|--|---|

## 寺社仏閣

龍海院の雅楽のイベントや長昌寺のお能、赤城神社の景観維持、キリスト教会…などの存在も前橋市の歴史の証明です。またそれぞれの文化活動や前橋市内の教会や寺社での前橋空襲被害者の一斉慰霊などの活動も前橋の価値です。

「粕川の千手院の本堂にて当地出身の「柳家小もん」「立川がじら」落語会が開催されました。このような文化事業を開催くださる寺社仏閣に感謝します。



## 地域の力で歴史文化を活性化



宮城の阿久沢家住宅



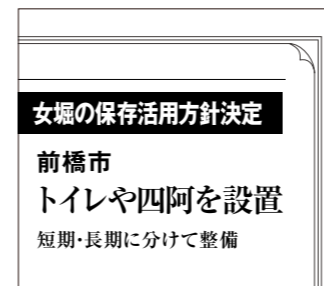
大室の関根家住宅



三河町の文化れんが蔵



総社に残る酒蔵“HONMAYA”



女堀の整備方針が新聞に掲載される



産泰神社の神楽と二之宮赤城神社三番叟



月田近戸神社の獅子舞



膳城址



大胡城址



臨江閣 将棋竜王戦



暴れ獅子



献穀粟収穫祭



込皆戸の式三番叟



国分寺の天平祭り



上泉伊勢守



刀鍛冶 高橋恒蔵氏 富士見鍛刀場

前橋市は蚕糸業の時代からイノベーションで日本の産業を牽引してきました。だからこそ戦争によって爆撃を受けて、市街の過半が焼け野原になっても復興を成し遂げることができたのです。

「少子高齢化による働き世代の激減」に対応する政策を進めて来ました。

若者の地元就職への取り組みを行っています

前橋市の社会人口動態は10代と20代が大学等進学時及び就職時に市外へ転出する傾向があります。そこで、高校3年生の春に前橋市にある企業を紹介する事業を行っています。今年も4月にグリーンドームで3千人の高校生と企業のマッチングを行いました。

高齢専門人材の前橋移住に取り組んでいます

前橋市における30代以降の人口は、転出より転入のほうが大きいのです。つまり若いうちは東京へ行きますが、その後は前橋に戻ってくることを示しています。この人材を増やすべきです。そこで、子育て支援が大切であり、前橋市はこの点を東京へ向けて発信していきます。特にシニア世代にとっては医療の質が重要であり、前橋市がC R C C生涯現役のまち構想を掲げてきた理由はここにあります。東京から高度人材を呼び込むための取り組みです。

新しい仕事へのチャレンジを応援しました

6年間でたくさんの起業家支援や新産業育成の仕組みが出来ました。また「働き方」や「生き方」が多様化し、地元で働き、新しい事業に挑戦したいという若者が増えています。前橋市街地に開設した「前橋市創業センター」によって創業や第二創業を支援しています。



前橋市の補助制度をまとめた冊子をお配りしています

産業分野や住宅助成、空き家の解体など様々な市の助成制度を一冊にまとめたパンフレットを金融機関や農協などの窓口で配布しています。多様で身近な補助制度もありますのでご覧ください。

市内の6大学、経済界と連携して人材育成に取り組んでできました

人材育成のために市役所だけでなく、大学や企業、経済界と協力し、群馬イノベーションアワードやイノベーションスクールと連携してきました。



地域の人材の育成・定着にかかる包括連携協定締結式



- ・大学におけるビジネススクール開講を支援
- ・企業人材教育としての学び直しの仕組みづくりを目的に、市内6大学との提携

ICT新産業の育成を行ってきました

5G社会に向かってのテレワークやシェアオフィスの立地促進も2019年から支援していきます。海外の工科大との連携によって人材確保も進めています。さらには群馬プログラミング・アワードの支援を通じてICTにおける専門性の高い人材育成にも取り組んできました。NTTドコモとの包括協定を結び、5G通信による新ビジネス支援を行っています。



御用聞き型企業相談で企業支援をしています

企業経営には仕事の現場に足を運んでくれる相談機関が必要です。前橋市では「御用聞き型企業相談」を実施して訪問相談を行ってきました。企業経営者の課題を解決するために、前橋市、前橋工科大学、前橋商工会議所の技術に精通したスタッフと協働して企業訪問支援を行っています。

前橋工科大学が企業の開発を支援しました

前橋工科大と企業の共同研究費用の一部を補助してきました。その結果、企業の特許申請に繋がった事例もあります。そして、学生の行動研究相手企業への就職にも繋がりました。

高齢者が新しい産業力になるように

シルバー人材センターの強化によって、職業人生の延長を進めています。高齢者が元気で働き続けられる前橋を目指して、高齢者の職業紹介や技能継承、技能習得に向けてシルバー人材センターの拡充を行います。

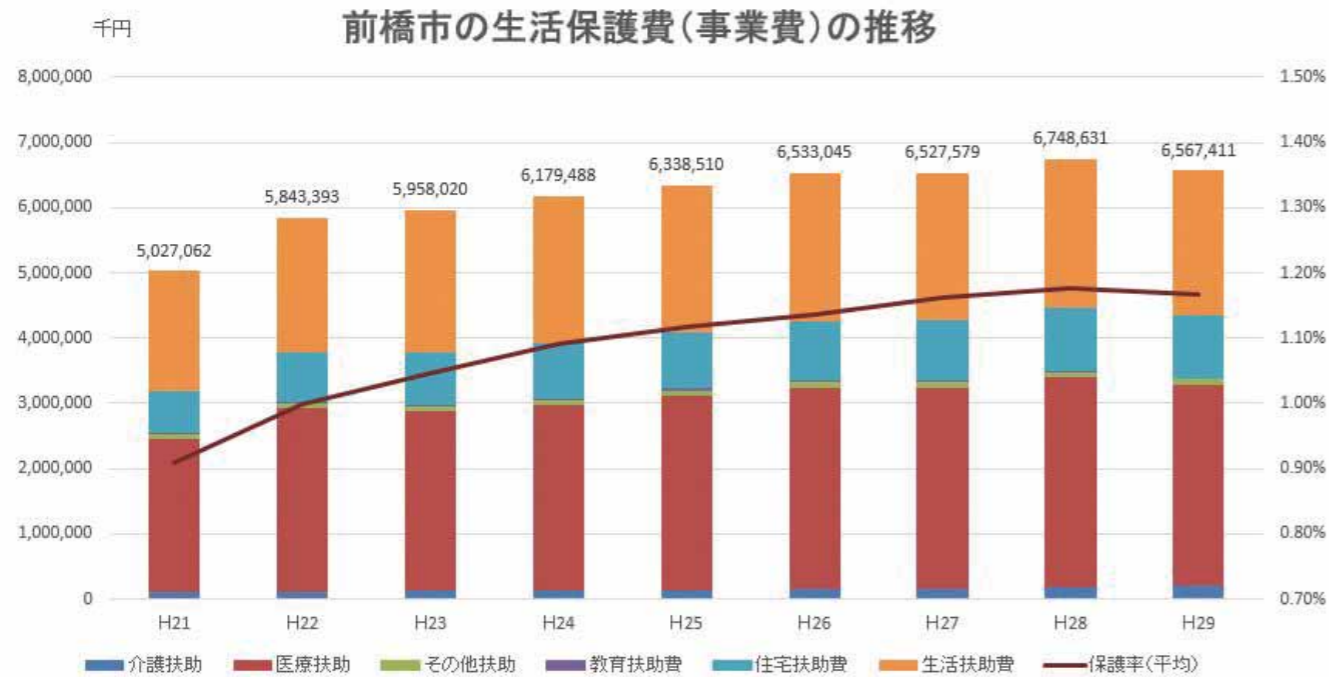
**ご案内 >> 前橋市シルバー人材センターであなたの技術を活かしませんか!**



新年度当初予算は、前年度比0.5%増の約1,441億円となり、3年ぶりの増加となりました。しかし余裕があるわけではありません。今後の見通しを正直にお話します。

### 増加要素

医療費や子育て支援に関わる予算の拡大は右肩上がりです。これらに加えて、がん検診の無料化、路線バスの拡充など公共交通への支援拡大により、市民の生活支援に対する支出は増加しています。インフルエンザなどの流行による医療費支出も増加しています。しかし生活保護費が下がり始めました。



### 交付税の減少

国からの交付金も算定替えにより、5つの自治体分が前橋市の1自治体分に漸減しています。また、災害の被災地支援へ予算が回される事での国の負担金の減額も大きな予算編成の課題になっています。



### 社会インフラ更新や新規課題への緊急対応による負担増

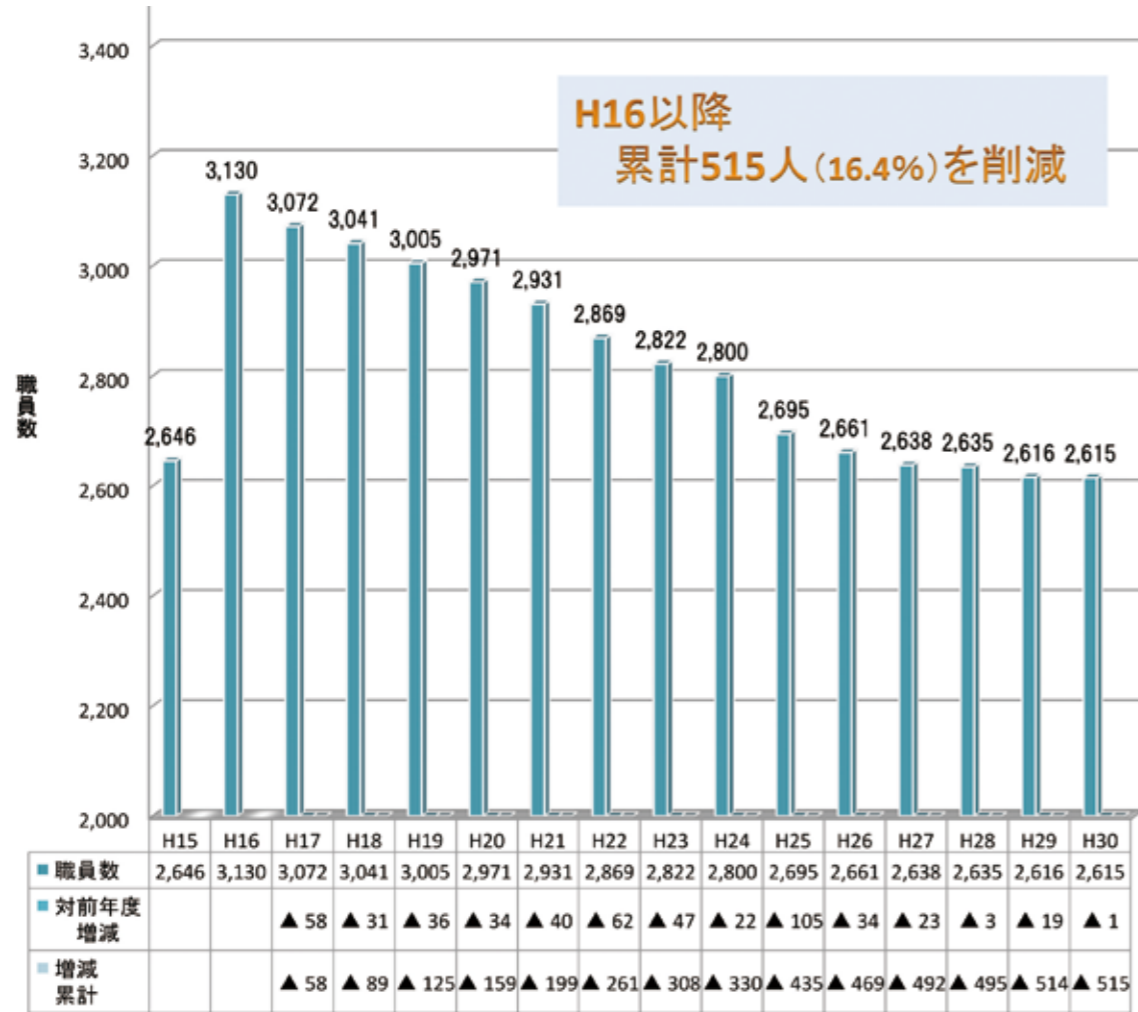
学校の建て替えや、古くなった公民館や水道整備や道路補修などの社会資本整備、さらには大阪地震によりブロック塀の補修などの対応、いじめや虐待、豚コレラなどの緊急事態への対応も増大しています。

### 計画から事業化へ進捗に伴う拡大

今まで蒔いてきた種が芽を出してきました。今後、花を咲かせるための支出が増加していきます。例えば、市街地総合整備計画に基づく再開発が事業化しようとしている事や、大胡・宮城・粕川・富士見との合併時の約束である建設計画も仕上げの段階から合併時の計画以外の新たな事業への展開が必要になっています。(膳城址、大胡城ビクターセンター、産業団地造成など)

今の市民サービスを継続するためには財政改革が必要です。  
市民の皆さんにその方針についてお話しします。

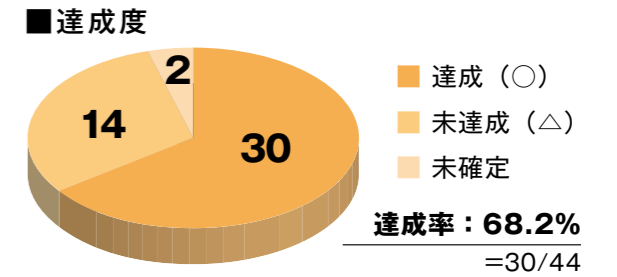
■ 前橋市職員数の推移



10年間で職員人件費を45億円削減

## 1 計画全体の取組結果

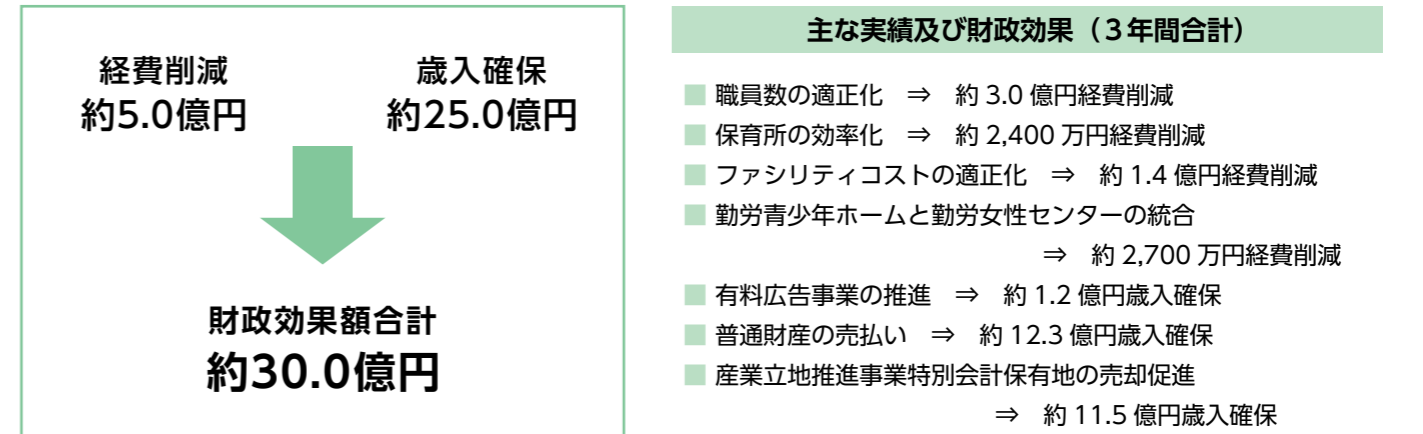
計画に位置付けた46施策の計画期間（平成28年度から平成30年度まで）における取組結果は「取組が完了したもの、あるいは計画どおりに取り組み、数値目標も含め達成したもの」が30施策となり、計画全体では68.2%の達成度となりました。未達成となった施策でも、目標指標には届かなかったが一定の実績をあげることができました。



(※30施策のうち2施策は、2カ年計画により平成29年度で取組が完了しています。)

## 2 計画全体の成果

計画に位置付けた施策の財政効果は、人件費の削減、保育所運営の効率化、勤労青少年ホームと勤労女性センターの統合、ファシリティコスト削減等を進めたことによる経費削減が約5.0億円、有料広告事業の推進、普通財産の売却、産業立地推進事業特別会計保有地の売却促進等による歳入確保額が約25.0億円となり、3カ年の成果の合計は約30.0億円となりました。



## 3 目玉施設の取組状況

本計画における重要施策として取組推進に特に注力しました。（[]は該当する計画番号と施策名）

### チャレンジ その1 窓口業務をはじめ様々な分野で民間委託化

【5.民間委託等の推進】

- 取組状況
- 市民課証明交付窓口
    - 平成30年12月から市民課証明交付窓口の委託を開始
  - 斎場管理運営業務
    - 平成29年度から炉裏業務の委託を開始し、平成31年度から炉前業務の委託を開始

## チャレンジ その2

### 正規職員の数による管理から総人件費による管理へ

【3.職員数の適正化】

#### 取組状況

- 技能労務職の退職不補充、事務事業の見直しに伴う職員の配置見直し、再任用短時間職員との置換え等により、計画を上回る職員削減(▲39人)を行いました。人件費では、再任用職員及び非正規職員を含めた総人件費ベースでH28年度比約3.0億円減(3年間合計)となりました。

## チャレンジ その3

### ファシリティマネジメントの本格実施へ

【21.施設評価による方向性の整理】 【22.市有建物の長寿命化の推進】 【23.ファシリティコストの適正化】

#### 取組状況

- 施設評価及び施設カルテの更新の取組を統合し、公共施設白書を改訂
- 予防保全計画推進プログラムの本格実施
- 簡易点検マニュアル等による市有施設の一斉点検を実施
- ESCO手法による照明機器のLED改修(ヤマダグリーンホーム前橋)、ひかり電話及び節水器の見直しによるコスト削減、電力入札方法の見直しによるコスト削減、警備・宿日直業務の長期継続契約の入札時期の見直しによるコスト削減

## チャレンジ その4

### ICTのさらなる利活用、マイナンバー制度の積極活用

【43. ICTの活用】 【45. マイナンバーカードの独自利用・普及促進】

#### 取組状況

- 母子健康情報サービスの登録者数 556人(H31.3末現在)
- 地域経済応援ポイントやマイタクにおけるマイナンバーカードの活用(マイタク用マイナンバーカード登録者3,366人 H31.3末現在)

## チャレンジ その5

### 名誉顧問、観光大使などを活用した効果的なシティプロモーション

【42.効果的なシティプロモーションの推進】

#### 取組状況

- 移住コンシェルジュを中心とした移住・定住相談会、市単独イベントの開催
- 都市魅力アップ共創(民間協働)推進事業を推進  
・「まえばしサイクルオアシスプロジェクト」、「自動車運転免許取得支援プロジェクト:タイガーマスク運動支援事業」等

## 4 計画外の実行財政改革の取組み

計画に位置付けた施策のほか、計画外で独自に取り組んだ取組は5施策となりました。新たな視点を持った行財政改革も着実に推進しています。

- 飲料水備蓄計画の見直し
- 用途廃止施設の民間活用
- 農業インスタグラムによる情報発信
- 広告付きAED無償設置事業
- 計量器定期検査業務の民間委託化




発行：山本りゅう後援会事務所

〒371-0022 前橋市千代田町2丁目7-19 ユーアイ井上ビル2階

電話：027-219-1005 / FAX：027-219-1006

※お車で越しの際は、お近くの有料駐車場をご利用ください。

まえばしレポート 2019



# まえばしレポート 2019

～ 7年間の実績と構想中のアイデアを語る～